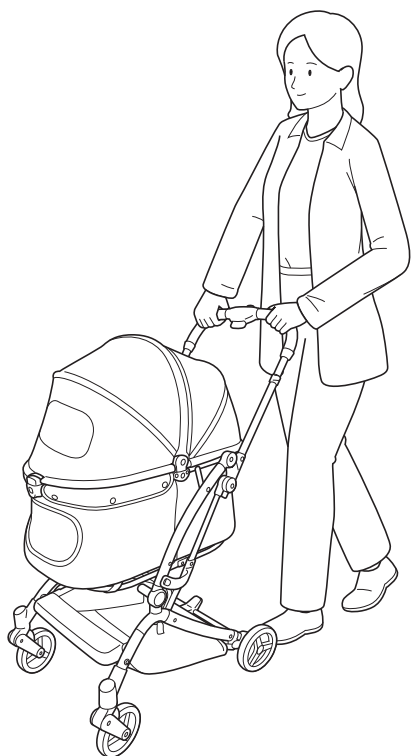


使用できるペットの条件：
2頭以下、合計体重12kg以下

このたびは本製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
本製品は、ペットを乗せて移動するための製品です。
正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。



もくじ

確認しましょう	<ul style="list-style-type: none"> ■梱包品の確認 ■各部の名称 ■商品の寸法図と仕様 	1・2
！安全上のご注意		3・4
ご使用前に	■組み立てかた	5
使いましょう	■使いかた	6～8
お手入れしましょう	<ul style="list-style-type: none"> ■日常のお手入れ方法 ■部品を取り外して洗う場合 ■部品の交換のしかた 	9～13
保証規定、保証書	■保証とアフターサービス	15

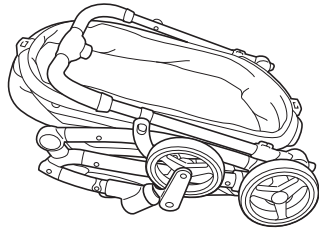
保存版
(保証書付)

👉 確認しましょう

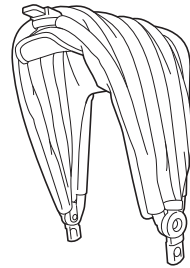
梱包品の確認

梱包品が揃っているか、下のイラストを見ながら確認しましょう。

●本体：1



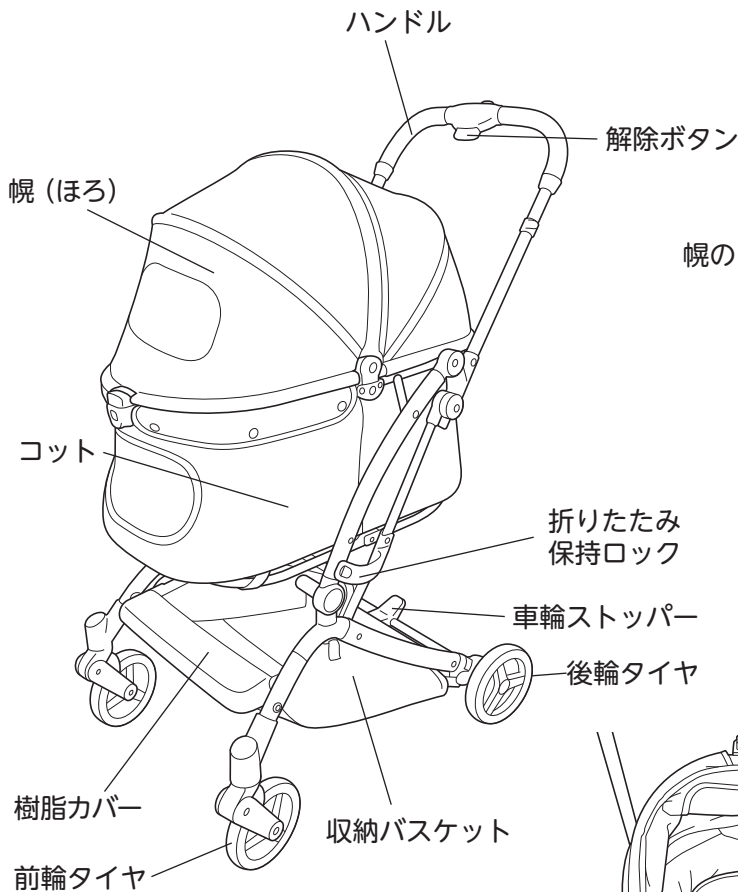
●幌：1



※コットは本体に付属しています。

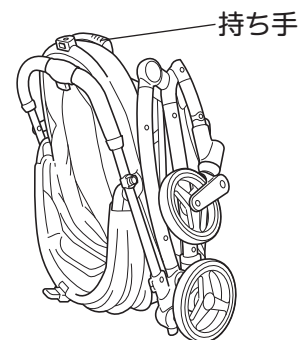
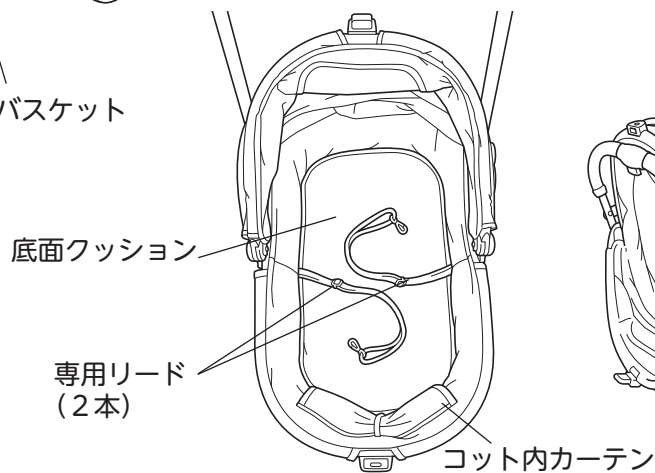
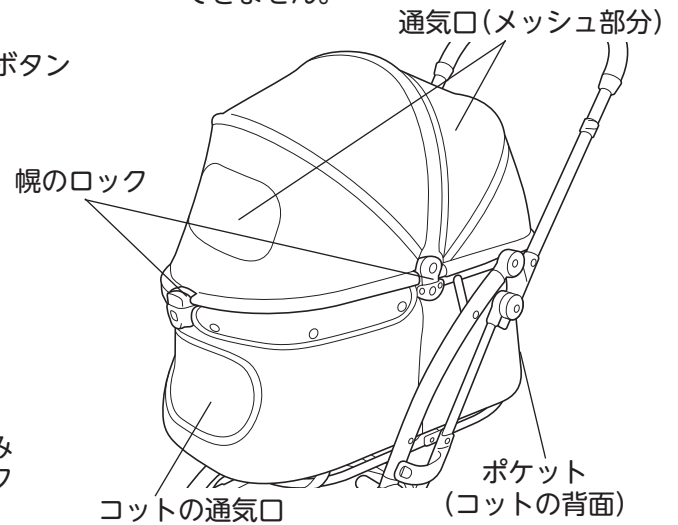
各部の名称

本 体



コット部分

※コットは本体から外すことはできません。



確認しましょう

！安全上の注意

✕ご使用前に

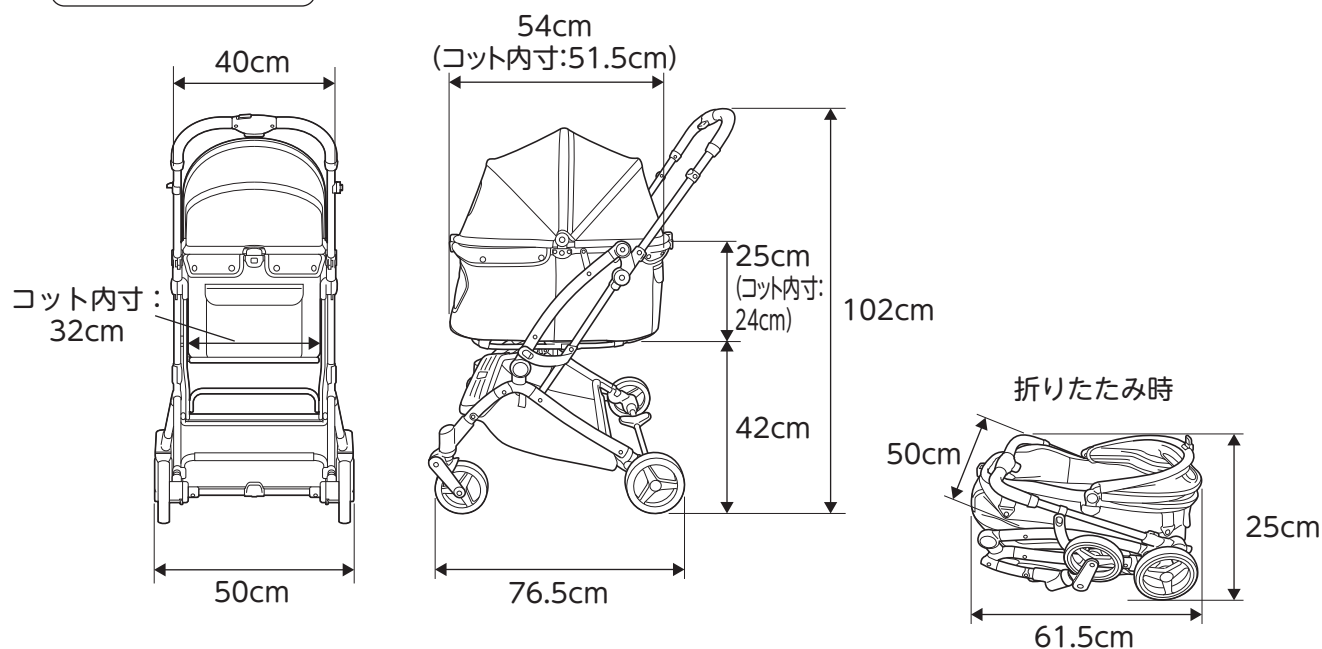
♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？保証規定、保証書

商品の寸法図と仕様

商品寸法図



仕 様

品 名	ペットカート nicollka (ニコルカ)	
構 成 部 材	部 品 名	材 質
	本体フレーム、幌のフレーム	アルミニウム (ハンドル部: 合成皮革)
	折りたたみ保持ロック、解除ボタン、樹脂カバー等	ポリアミド、ポリプロピレン、ポリアセタール
	幌	ポリエステル (先端部: ポリアセタール)
	コット	ポリエステル
	底面クッション	ポリエステル
	収納バスケット	ポリエステル
	前輪タイヤ、後輪タイヤ	EVA 樹脂
商品サイズ	持ち手	ポリプロピレン (樹脂部: ポリ塩化ビニル)
	展開時: 幅 50 × 奥行 76.5 × 高さ 102cm / 折りたたみ時: 幅 50 × 奥行 61.5 × 高さ 25cm	

廃棄上のご注意

お住まいの地域の分別ルールに従って廃棄してください。

確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？保証規定、保証書

！ 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容です。**思わぬ事故（転倒、けが、破損など）の原因となりますので、必ずお守りください。**



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

！ 必ず行うこと ！

ペットを乗せるときは、必ずコットに付属のリードをペットの首輪・胴輪などに取り付け、ペットが飛び出さない長さに調節すること

専用リードは2本のため、2頭まで乗せられます。

ペットを乗せおろしする際は、必ず車輪ストッパーをかけること

収納バスケットから、内容物がはみ出てないことを確認してから操作すること

・坂道など床に勾配がある場所で停止するときは、必ず後輪をロックすること

・坂道で停止した場合、製品から手を離さないこと（傾斜地は転倒しやすくなります）

ペットに異変を感じたときは、すぐに使用を中止すること

⊘ 絶対にしないこと ⊘

ペットカート以外の用途に使用しないこと

製品を改造しないこと

ペットを乗せたまま製品から長時間離れないこと

走行中はハンドルから手を離さないこと

走行中は必ず両手でハンドル部分を持ってください。

コットや収納バスケットに耐荷重を超えるペットや荷物を乗せないこと

耐荷重：コット 12kg、収納バスケット 2.5kg

ペットはコット以外には乗せないこと

本製品に散歩用リードをつながないこと

ハンドルへ過度の荷重（寄りかかる、荷物をつるすなど）をかけないこと

製品の転倒等为了避免するため正しくご使用ください。

ペットを乗せたまま、ペットカートを持ち上げないこと

エスカレーターや動く歩道、階段、大きな段差のある場所では使用しないこと

路面凍結、強風など車体が自走しやすい環境では使用しないこと

ぬかるみ等走行しにくい環境では使用しないこと

タイヤが著しくすり減った状態で使い続けないこと

走行時の安定に影響がでて重大な事故につながるおそれがあります。定期的にタイヤの状態を確認し、異常があれば交換してください。

➡交換部品の案内（P.10）

製品の破損や異常を発見した際は使用を中止すること

ご使用前に製品に異常がないか、確認してください。

商品梱包用のポリ袋は犬や幼児が届くところに置かないこと

かぶると窒息するおそれがあります。

確認しましょう

！ 安全上のご注意

✕ ご使用の前に

♡ 使いましょう

💧 お手入れしましょう

？ 保証規定、保証書



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

！ 必ず行うこと ！

使用中はつねに目を離さず、十分注意すること
ペットの予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行中はコットの幌を完全に閉じること
ペットの飛び出し等、思わぬ事故の原因になります。

長時間にわたる連続使用は避け、1時間程度を目安に休憩をとること
ペットの健康を損ねる可能性があります。こまめにペットの体調を確認し体調に合わせて適時休憩してください。
※特に夏季の青天時はコット内の温度が高くなることがあるのでご注意ください。

踏切や粗目のグレーチングを走行する際は、車輪が溝やすき間にはまり込まないように注意して走行すること

該当の箇所では溝に車輪をとられると、事故の原因となります。
ハンドルを手前に引き前輪を浮かせる等、十分に注意して走行してください。

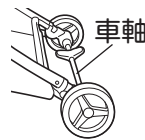
幌を閉じる時は、ペットの手足や毛を挟まないように注意すること

⊘ 絶対にしないこと ⊘

ペットカートを押すときは走らないこと

収納バスケットやポケットに荷物が入った状態で折りたたまないこと
製品の破損の原因となります。

- ・強引に段差を乗り越えないこと
- ・車軸を踏んで段差を乗り越えないこと



製品の破損や事故の原因となります。
段差を乗り越える際はハンドルを手前に引き前輪を浮かせる等、十分に注意して走行してください。

お手入れ・保管時のご注意

下記を使ってお手入れしないこと

- ・たわし、研磨剤入りのスポンジ等製品を傷つけるもの
- ・シンナー、クレゾール、酸・アルカリ性洗剤
- ・塩素系薬剤(洗剤)や熱湯(煮沸消毒など)による殺菌、消毒

製品が劣化し、破損の原因になります。
洗剤を使う際は、中性洗剤を使用してください。

- ・ごしごしとしたきつい揉み洗いを行わないこと
- ・洗濯機は使用しないこと
- ・長時間のつけ置き洗いは行わないこと

製品の劣化が早まりますのでお控えください。

熱源(火気や暖房器具)のそばや夏場の車内など、高温になる場所で保管しないこと

故障や変形の原因になります。

製品の上に重い荷物を重ねるなど、圧力が加わる状態で保管しないこと

故障や変形の原因になります。

**屋外の直射日光下で保管しないこと
雨ざらしなど、多湿な環境や濡れた状態で保管しないこと**

故障や変形(特に退色やさび、カビ)の原因になります。

●公共交通機関をご利用される場合、必ず各社のルールを確認した上でご利用ください。

製品を広げた状態で乗せられる公共交通機関を利用される場合、必ず後輪をロックしてください。
カーブや急ブレーキ等でカートが動くと思わぬ事故に繋がります。

確認しましょう

！安全上の注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

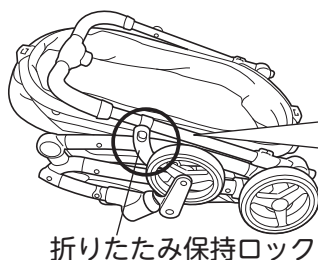
💧お手入れしましょう

？保証規定、保証書

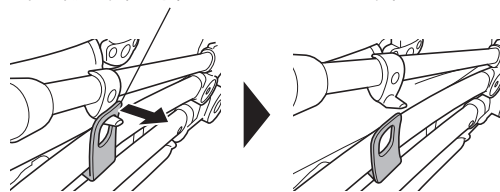
✕ ご使用の前に（組み立てかた）

フレームを開く

- ①図のようにフレームの折りたたみ保持ロックを外す。



先端を外に押してフックから外す



注意



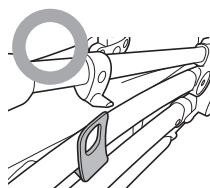
製品を床に置いた状態で操作すること

製品を持ち上げた状態でロックを外すと、勢いよく製品が開いて怪我や破損の原因となります。

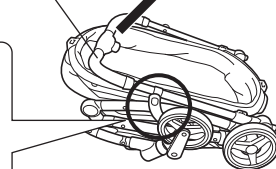
- ②ハンドルを持って、上へ引き上げると、フレームが開く。

折りたたみ保持ロックが外れている状態

折りたたみ保持ロックを外さずにハンドルを無理に引き上げると製品の破損につながります。



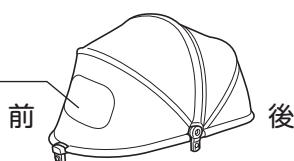
ハンドル



幌をコットに取り付ける

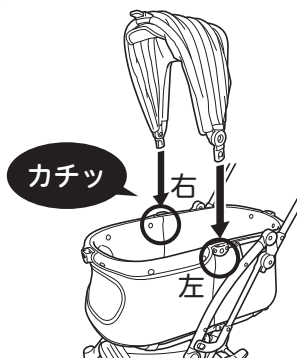
- ①幌を広げて前後を確認する。

通気口（メッシュ部分）



- ②幌の先端を、「左右→前後」の順でコットの穴にカチッと音がするまで差し込む。

左右を差し込む



幌を広げて、前後を差し込む



以上で組み立ては完了です。

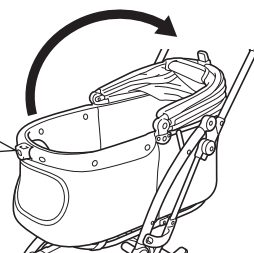
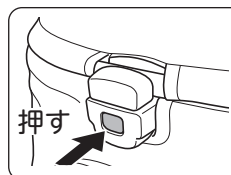
本体の折りたたみかた、開きかた

カートの折りたたみかた

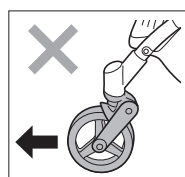
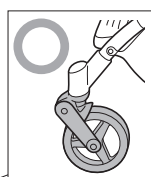
- ① 幌の前方のロックを外し、幌を後ろまで開く。

※注意：幌の後方から前方に開けると幌にハンドルが引っかかり折りたためません。

ロック解除の方法



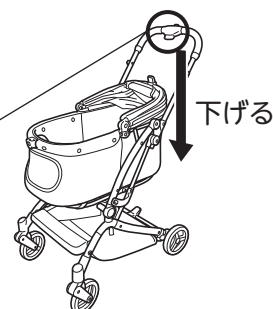
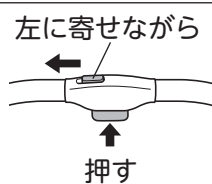
- ② 前輪タイヤが左図の向きであることを確認する。



※前輪タイヤが右図（×）の向きの場合、カートを少し前に押すと、左図（○）の向きになります。

- ③ 右図のようにハンドル中央部のロックを解除して、そのままハンドルを下げて折りたたむ。

ロック解除の方法



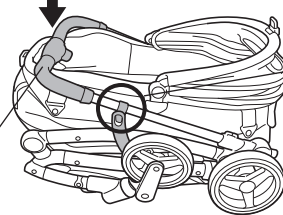
- ④ 折りたたまれた状態でハンドルをさらに押し込むと、「折りたたみ保持ロック」がかかる。

注意



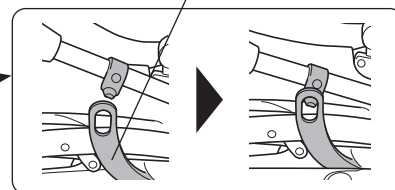
フレームに手を添えたり、ハンドル以外を持って押し込まないこと
手を挟む原因になります。

押し込む



ハンドル

折りたたみ保持ロック



カートの開きかた

折りたたみ保持ロックを外し、ハンドルを持ち上げると開きます。
詳しくはP. 5 「フレームを開く」を参照してください。

🔍 確認しましょう

! 安全上のご注意

✖️ ご使用の前に

❤️ 使いましょう

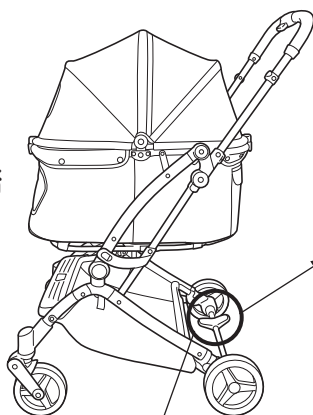
💧 お手入れしましょう

? 保証規定、保証書

車輪ストッパーの使いかた

車輪ストッパーを手前にカチッと音がするまで踏むと車輪にロックがかかります。

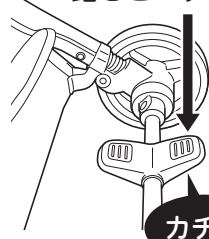
解除は車輪ストッパーの奥側を踏んでください。



車輪ストッパー

〈解除の状態〉

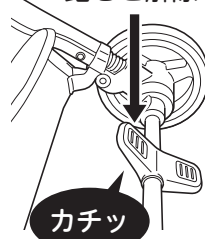
踏むとロック



カチッ

〈ロックの状態〉

踏むと解除



カチッ

警告



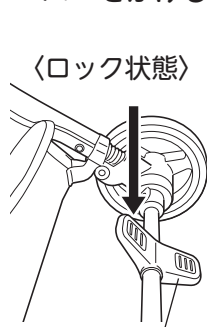
坂道など床に勾配がある場所で停止するときは、必ず後輪をロックすること
思わぬ事故の原因となります。

ペットの乗せかた

※コットの耐荷重は12kgです。

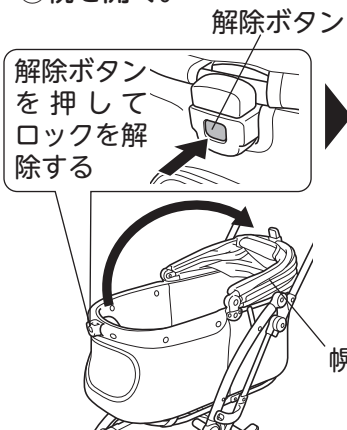
以下の手順でコットにペットを乗せてください。

①車輪にストッパーをかける。



車輪ストッパー

②幌を開く。



解除ボタン

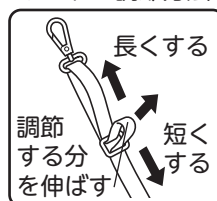
解除ボタンを押して
ロックを解除する

幌

③ペットを乗せて飛び出し防止用の専用リードにつなぎ、リードの長さを調節する。

※専用リードはペットの上半身がコットからはみ出ない程度で調節してください。

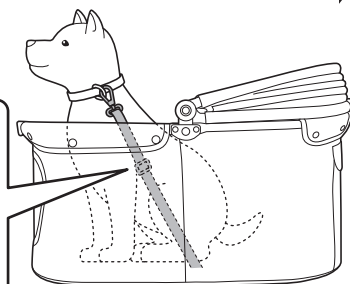
リードの調節方法



長くする

短くする

調節する分を伸ばす



※車輪ストッパーの使いかたはP.7上部を参照してください。

④幌を閉じる。



カチッ

警告



ペットを乗せおろしする際は、必ず車輪ストッパーをかけること

思わぬ事故の原因になります。

必ず専用リードを使用し、ペットが飛び出さない長さに調整すること

思わぬ事故の原因になります。

注意

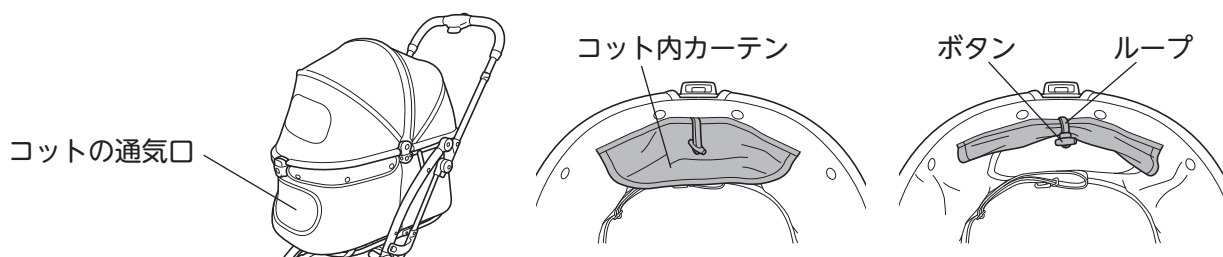


幌を閉じるときは、ペットの手足や毛を挟まないように注意すること

コット内カーテンを開ける

暑い日などに、コット内カーテンを開けてメッシュにすることで、コットの通気性を上げることができます。

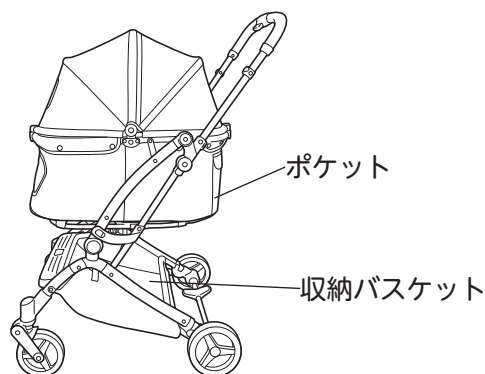
コット内カーテンを巻き上げ、ボタンにループを通して固定する。



荷物を入れる

収納バスケット等に荷物を入れることができます。

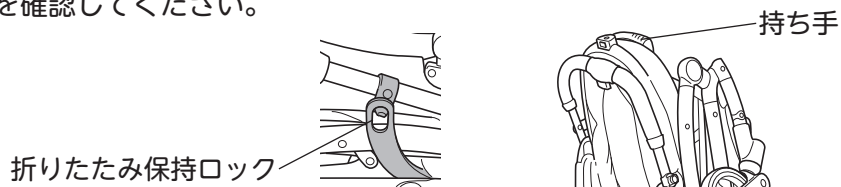
※収納バスケットの耐荷重は2.5kgです。



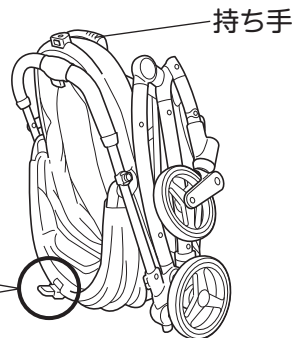
製品の持ちかた

持ち手を使用して、折りたたんだ状態の本体を持ち運べます。

※持ち運ぶ前に本体に折りたたみ保持ロックがかかっていることを確認してください。



幌の先端の部品が体に接触しないよう、幌が外側になる向き（右図）で持つことを推奨します。



確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

使いまししょう

💧お手入れしまししょう

？保証規定、保証書

🔍 お手入れしましょう

日常のお手入れ方法

注意



次にあげるものではお手入れしないこと

- ・シンナー ・クレゾール ・酸、アルカリ性洗剤
 - ・塩素系薬剤（洗剤）や熱湯（煮沸消毒など）による殺菌、消毒
 - ・磨き粉、タワシ、研磨剤入りスポンジ、その他製品を傷つけるもの
- 製品が劣化し、破損の原因になります。



金属部分・樹脂部分（フレーム、タイヤ等）

- 雨などで濡れた場合は、乾いた布で拭きとってください。
- 泥やほこりがついた場合は、水で濡らした布を固くしぼって拭きとり、その後、乾いた布で拭いてください。

布部分（幌、コット、収納バスケット等）

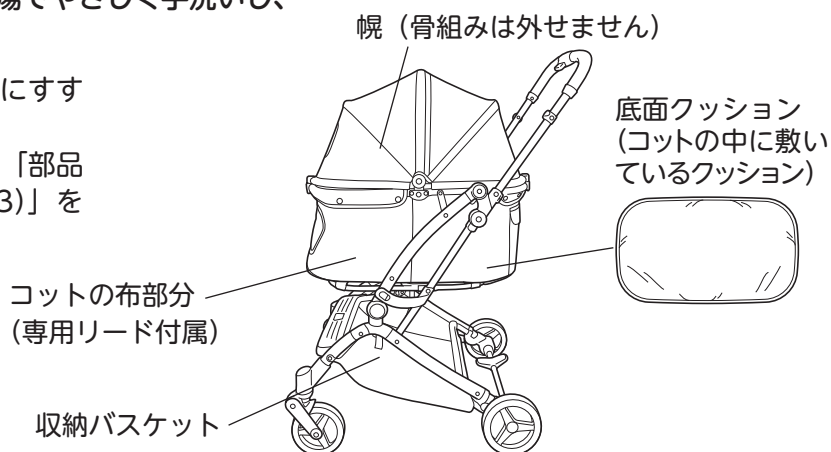
- 水で濡らした布を固くしぼって拭きとり、その後、よく乾かしてください。
- ※汚れがひどい場合は、中性洗剤を染み込ませた布で汚れを拭きとり、その後、水で濡らした布で洗剤をしっかりと拭きとり、よく乾かしてください。

部品を取り外して洗う場合

下記の部品は本体から取り外して洗うことができます。
取り外したら、水またはぬるま湯でやさしく手洗いし、陰干ししてください。

※洗剤を使用する場合は十分にすすいでください。

※それぞれの部品の外し方は「部品の交換のしかた（P.10～13）」をご確認ください。



注意



- ・ごしごしとしたきつい揉み洗いを行わないこと
- ・洗濯機は使用しないこと
- ・長時間のつけ置き洗いはしないこと

製品の劣化が早まりますのでお控えください。

保管時の注意

直射日光を避け、雨などで濡れない乾いたところに保管してください。

注意



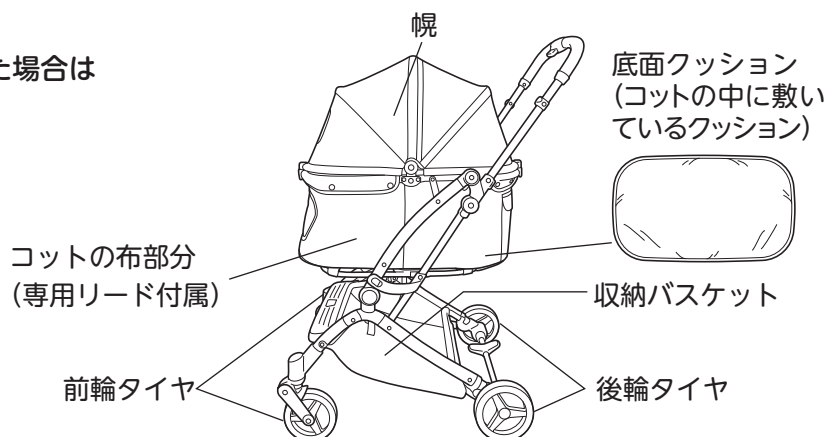
熱源（火気や暖房器具）のそばや夏場の車内など、高温になる場所で保管しないこと
故障や変形の原因になります。

製品の上に重い荷物を重ねるなど、圧力が加わる状態で保管しないこと
故障や変形の原因になります。

屋外の直射日光下で保管しないこと
雨ざらしなど多湿な環境や、濡れた状態のまま保管しないこと
故障や変形（特に退色やさび、カビ）の原因になります。

部品の交換のしかた

右図部品は交換できます。
破損したり、タイヤがすり減った場合は
部品を交換してください。



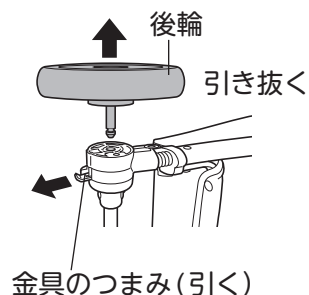
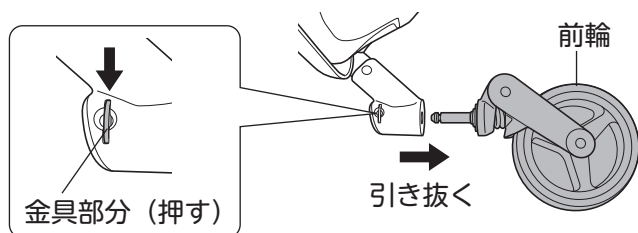
タイヤの交換方法

外しかた

※タイヤを外す場合は、本体を横に倒してください。

前輪：本体のタイヤ固定軸の内側にある金具のつまみを押し込みながらタイヤを引き抜く。

後輪：タイヤ固定軸の金具のつまみを引きながらタイヤを引き抜く。



確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

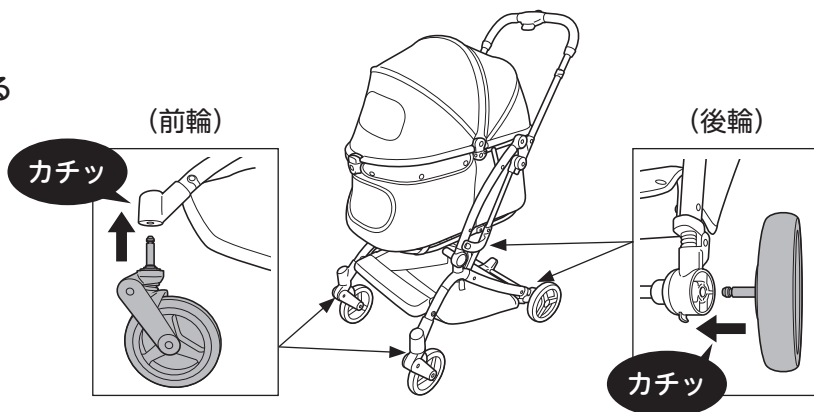
💧お手入れしましょう

？保証規定、保証書

💧 お手入れしましょう

取り付けかた

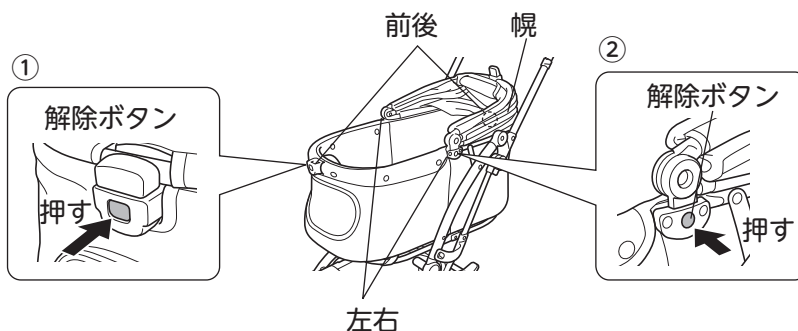
車輪を本体の穴にカチッと音がするまで差し込む。



幌の交換方法

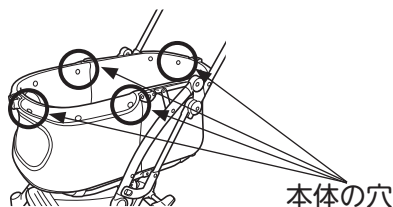
外しかた

- ① 前後のロックを解除して幌を畳む。
- ② 幌を支えながら左右のロックを解除して幌を外す。



取り付けかた

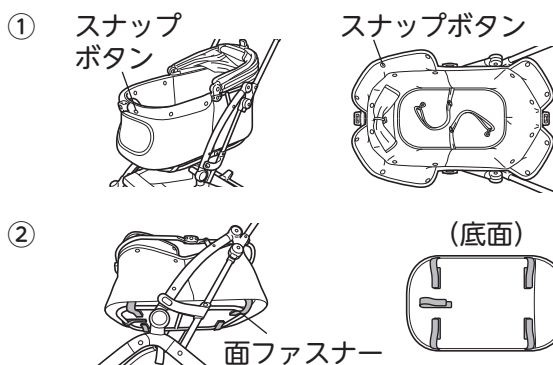
本体の穴に幌の先端の金具を差し込む。
詳しくはP. 5「幌をコットに取り付ける」を参照してください。



コットの布部分の交換方法

外しかた

- ① 幌を外し（前欄参照）、コット上部のスナップボタン（10ヶ所）を外す。
- ② 本体を横倒しにして、コット底部の面ファスナー（5ヶ所）を外す。



👁️ 確認しましょう

⚠️ 安全上の注意

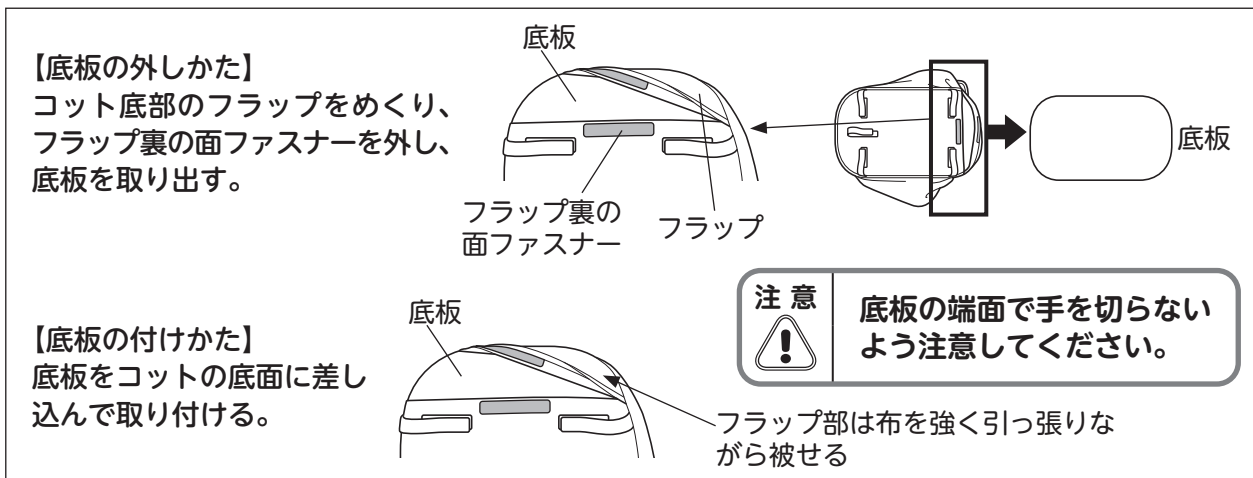
✂️ ご使用の前に

💖 使いましょう

💧 お手入れしましょう

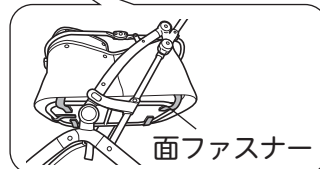
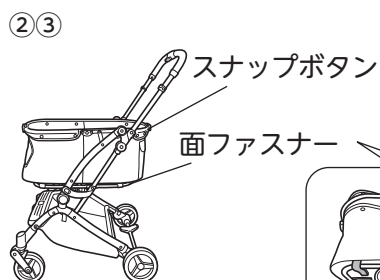
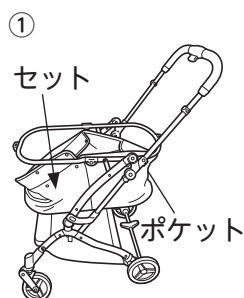
❓ 保証規定、保証書

※コットの布部分を洗浄する場合、底板を外すことができます。



取り付けかた

- ① ポケットが後ろにあることを確認して、フレームの間にセットする。
- ② 上部のスナップボタン（10ヶ所）を取り付ける。
- ③ 底面の面ファスナー（5ヶ所）を取り付ける。

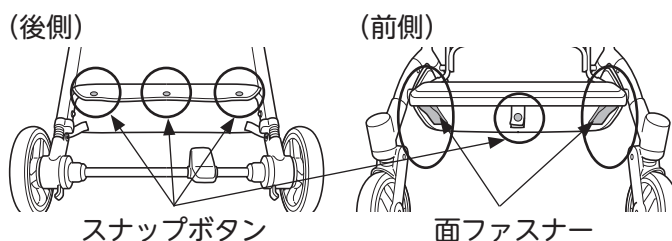
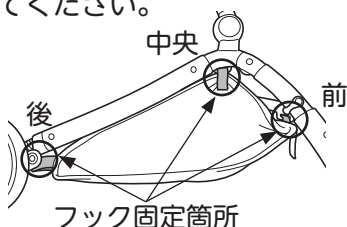


※スナップボタンと面ファスナーが全て付いていることを確認してください

収納バスケットの交換方法

外しかた

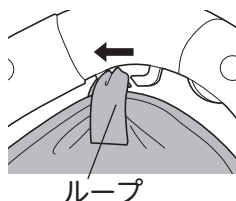
- ① 収納バスケットのスナップボタン（後ろ3ヶ所、前1ヶ所）と面ファスナー（前2ヶ所）を外す。
- ② 製品を横倒しにして、本体のフックから、収納バスケットのループを外す（左3ヶ所、右3ヶ所）。
※「中央→前または後」の順でフックから取り外してください。



※イラストは「中央」のフックです。

ループをフックの鈍角側に寄せる。

フックの鈍角側の切欠きにループ先端を差し入れ、ループを外す。



確認しましょう

安全上のご注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

保証規定、保証書

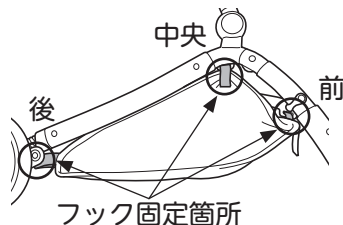
🔧 お手入れしましょう

取り付けかた

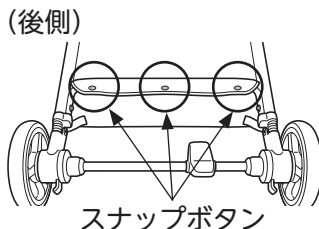
外しかたと逆の手順で取り付けてください。

- ①製品を横倒しにして、本体のフックに収納バスケットのループをかける（左3ヶ所、右3ヶ所）。

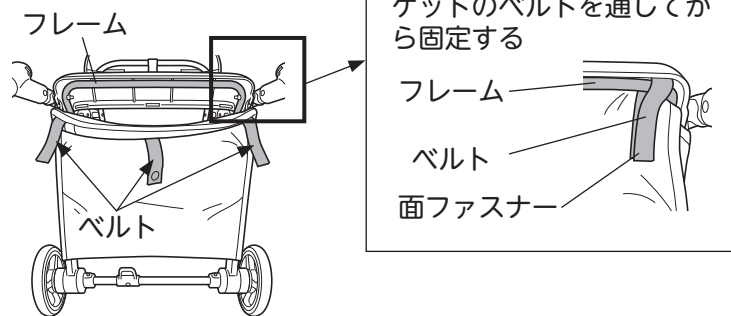
※【前または後→中央】の順でフックに取り付けてください。



- ②後ろのスナップボタンを固定する。

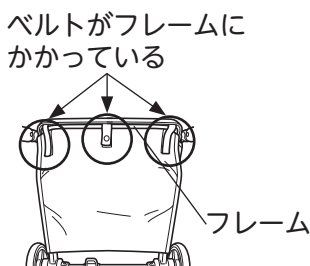
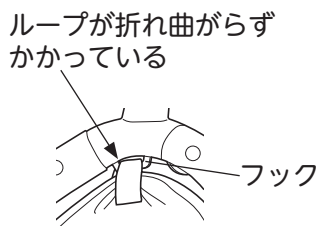


- ③前のフレームに収納バスケットのベルト（3本）を通して、ベルト先端の面ファスナー（真中のベルトはスナップボタン）を固定する。



- ④取り付けが不十分だと収納バスケットの落下につながるため、以下を確認してください。

- ・フックにループがきちんとかかっていること
- ・前方のフレームにベルトが3本ともかかっていること



保証規定、保証書

保証とアフターサービス よくお読みください

- 保証期間中は
保証書の規定に従って修理（部品交換もしくは製品交換）させていただきますので、製品に保証書（取扱説明書）を添えて、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- 保証期間を過ぎているときは
部品交換すれば使用できる製品については、ご希望により有料で部品交換させていただきます。
部品供給、また修理対応期間はメーカー製品廃番後3年となります。
ただし、期間内でも破損箇所によっては、部品供給、または修理できないケースがございますのでご了承ください。

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。尚、保証書の再発行はいたしません。

保証書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。お客様が取扱説明書・本体添付シール等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に万一故障した場合には、本保証書記載内容により無料修理（部品交換もしくは製品交換）いたします。有効期間は、お買い上げの日より1年間です。

1. 修理（部品交換もしくは製品交換）は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
2. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
3. 保証期間内でも下記の場合は、有料修理になります。
 - 1) 保証書のご提示がない場合。
 - 2) 本保証書のお買い上げ日、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 3) 使用上の誤り、あるいは改造、修理、調整による故障または損傷。
 - 4) お買い上げ後の輸送、移動、落下、その他の不適切な取り扱いによる故障または損傷。
 - 5) 火災、地震、塩害、ガス害、風水害、落雪、その他の天災地変による故障または損傷。
 - 6) タイヤや収納バスケットなど、消耗品の損傷及び汚れ。
 - 7) 業務用または一般家庭用以外にご使用の場合の故障または損傷。
4. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
5. 保証書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理（部品交換もしくは製品交換）をお約束するものです。
したがって、保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

〈個人情報の取扱いについて〉

- 1) 保証書にご記入いただいた住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用いたします。
なお、本書にてお預かりするお客様の個人情報をお客様の同意を得ることなく、第三者に提供または開示いたしません。
- 2) 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合、守秘義務契約を結び当社と同等の水準でお客様の個人情報を取り扱うように管理いたします。

★お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げ日より1年
お客様	ご住所 〒
	ご芳名 TEL
★販売店	住 所 〒
	店 名 TEL

★印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
もし記入のない場合は直にお買い上げの販売店にお申し出ください。
ただし、記入のない場合、本保証書と領収書（上記★印欄（お買い上げ日、販売店等）、製品名が記入されているもの）をご提示いただければ、上記保証規定により、保証させていただきます。

- 製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります

製品に関するご意見
・お問い合わせは

お客様相談室 フリーダイヤル ☎ 0120-86-7735
(受付時間) 祝祭日以外の月～金 10:00～16:00 (12:00～13:00はのぞく)

- ・お客様からいただいたお電話は、内容確認のため、録音させていただいております。
- ・個人情報は適切に管理し、ご相談への回答などの情報提供のみに利用いたします。

製造・発売元

TOAGOSEI グループ



アロン化成株式会社

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階

URL <https://www.aronkasei.co.jp/>

ワンエイド

検索